

LAC CANINUM／サンカラシ (ソウル オブ レメディーズ より)

Lac-c. は Sycotic レメディーである。犬（雌犬）の母乳から調製される。このレメディーには犬の性質がみられる。すっかりコントロールされ文明化され、そのため基礎にある動物の性質を抑圧しなければならず、文明化されたコントロールされた形でのみ自身の質を表現することができるという動物の性質である。パフォーマンスし愛情をふりまいて自分の主人をハッピーにすることに自分の生存がかかっている。もしパフォーマンスしなければもはや用なしで主人にけり出されてしまう。このように人を喜ばせようとするのが動物的側面である。しかし、犬は自分がいかに人を喜ばせようとしても自分は人間と同等にはなり得ないということを知っている。自分は下等であると感じていて、ヒエラルキーの最下層にいてることを知っている。動物的側面はまた悪意的なものでもある（犬の尻尾をひっぱれば犬は噛みつくだろう）。Lac-c. の人は非常に情熱的で非常に淫らである。非常に攻撃的で防御的にもなり得る。

Lac-c. の中心テーマは支配（大きい者が小さい者を支配すること）とトップであろうとするということである。Lac-c. の人はイライラとしてどう猛であるが、しかし誰かがもっとイライラしていてどう猛であると、ギブアップし服従する。ここで内なる葛藤が生じる「私はどんな人でありたいのか？」と。自分が価値が低いという感覚が強まっていく。「私はあまり優れてはいない。自分は汚く非道い状態にあるようだ」。そして自分を軽蔑するようになる。この自分が汚いというフィーリングは動物のレメディーによくみられるものであり、Ambra grisea（鯨の精液から調製されたレメディー）のフィーリングと類似したものである。しかし Lac-c. は単純に「私は好ましくない。軽視され見下されている」と感じる。Ambra grisea は「糞のようだ」と感じる。Lac-c. は他人と自分を比較して苦しむ。自分が置いてきぼりにされ拒絶されているように感じる。なので、なんとかして人を喜ばせよう、人に好かれよう、愛され受け入れられようとする。他人に自分の状態に対する責任があると考え悪意や憎悪を募らせる場合もある。時にこういったフィーリングに伴って性的耽溺の過去がみられる。

Lac-c. の状態はインドの家庭の浅黒い肌の少女にみられるものである。

姉妹が自分よりも肌の色が白い。なんとか自分も色白になろうとするのだが、そうならないとわかる。いつも“優れた肌の持ち主の”姉妹と自分を比較し、すぐに自分を嫌い始める。人々は姉妹にばかり服を持ってくる。誰も自分の言うことを聞かない：彼女がこれまたあんまり賢くない一話す内容が愚かしく馬鹿げている。身体の見栄えが悪いので自分は愛されず顧みられないと感じる。自分が汚いと感じ始め、頻繁に体を洗うようになる。人々は彼女をほとんど蛇か害虫であるかのように思い邪魔にする（“Delusion snakes in and around her：自分の周りや中に蛇がいるという妄想”）。自信がなくなっていき、すっかり優柔不断になり、自分の話すことは全部嘘であると思う。性を嫌悪し、ひどい鬱状態になり、なにをしても心地よいかんじにならない。無価値であると感じ自分自身を嫌悪し、自分はほとんどなにも成し得ないと思い、重要でないと感じ、不可触賤民のような感じになる。自分は不治の病であり死ぬだろうと信じ込む。自殺してこの苦しみを終わりにしたいと望む。自分の状態のことで人を責め、自分に対する扱いのことで怒る一憎悪を募らせていき、執念深く復讐心を燃や

すようになる。自分は不公平な扱いをされてきたと感じ、下品で卑劣になる (“Writing meanness to her friends : 友人に非道い卑劣な手紙を書く”)。

Jurgen Becker はアフリカ系アメリカ人の間でよく使われる表現として “Mofo (母親とファックするろくでなし)” というものがあるということを話してくれた一間違いなく Lac-c. 的表現である。アメリカの黒人にあるフィーリングというのは今日でさえ “私はアノラッキーだ。黒い皮膚に生まれついた。なんとか自分の凄いことをみせなくてはならない。しかし結局どうあれ自分は黒人のままなんだ” というものである。これはまた Lac-c. 的状况である。

ルブリクス

- Contemptuous, self, of : 自分を軽蔑する。
- Delusion, despised, to : 軽蔑されているという妄想。
- Delusion, dirty, he is : 自分は汚いという妄想。
- Deluison, diminished, short, he is : 自分が小さくなっているという妄想。
- Delusion, looked down upon, she is : 見下されているという妄想。
- Delusion, thinks all she said is a lie : 自分の話すことは全て嘘だと考える
- Delusion, snakes in and around her 自分の周りや中に蛇がいるという妄想。
- Malicious : 悪意的。
- Moral feeling, want of : モラルの感覚がない。
- Rage, fury : 逆上、憤激。
- Rudeness : 無礼、無作法。
- Writing meanness to her friends : 友人に卑劣な手紙を書く。
- Anxiety, success, from doubt, about, of : 疑いから成功に対して不安を感じる。

Phatak's Materia Medica

- Thinks himself of little consequence : 自分はほとんど重要ではないと考える。
- One's own body seems disgusting : 自分の身体が胸くそ悪いものに思える。
- Imagines he wears someone else's nose : 他人の鼻がくっついていると想像する。
- Every symptom seems a settled disease, which is incurable : どのような症状も固定した病で不治であるように思える。

Kent

- Desires highly seasoned food : 濃い味付けのものを好む。
- Pain, mammae, menses, before : 生理前に乳房が痛む。

Phatak

- Craves condiments : 香辛料を好む。
- Dirty, he is : 自分は汚い。
- Fear of falling downstairs : 下に落ちることを恐れる。
- Lactation, milk absent : 乳汁が分泌されない。
- Mammae before menses : 生理前の乳房の問題。
- Self loathing : 自己を嫌悪する。
- Taste salty, only salty food tastes natural : 塩の味がする。塩味の食べ物だけが自然な味がする。
- Thinking himself too little : 自分が非常に小さいと考える。